

調書

一、氏名 長谷川庄七

二、既有位階勲等 無し

三、生年月日 文政九年

四、事蹟

常陸國鹿島郡駒場村ノ人常ニ尊攘ノ實行ヲ因リ田九箱之
衛門等ノ筑波義鞆ニ参加シ遂ニ那珂湊ニ戦死ス

五、死亡ノ年月日並其ノ原因 元治元年八月十六日戦死

六、遺族ノ状態 現戸主茨城縣鹿島郡沼前村大字駒場ニ住ニ農ヲ業ト

ス其ノ子ハ全郡鉾田町ニ於テ運送業ニ従事ス

七、前各項ニ関スル調書ノ出处 水戸藩死事録、波山始末等

茨城縣

長谷川庄七事蹟

長谷川庄七ハ常陸國行方郡芥沢村芥沢外記ノ四男鹿島郡
駒場村郷士長谷川四郎右衛門ノ嗣子トナル父ノ後ヲ襲キ
テ里正トナリ取務ニ恪勤シ利ヲ興シ害ヲ除クコト少カラ
ズ資性慷慨ニシテ氣節アリ常ニ皇望ノ式微ヲ憂ヒ挽回ニ
竭スヲ念トス文久三年三月藩主水戸侯上洛セララルヤ藩
命ヲ受ケテ扈從シ西丸ヲ警衛ス後退任帰郷ス當時食客數
十名ヲ寓セシメ尊懷ノ大義ヲ唱ヘ東奔西走斡旋スル所アリ
元治元年春水戸ノ士田九稻之衛門藤田小四郎等義兵ヲ
擧ケテ攘夷ノ先鋒タラントシ大平山ニ拠リ檄ヲ飛ハシテ
志士ヲ募ルニ當リ同志百餘人ヲ率平馳セテ之ニ參ス尋テ
轉ニテ筑波山ニ屯ス庄七輜重奉行タリ後水戸市川三左衛

茨城縣

門ノ徒跋扈シ勤王ノ士ヲ戕害シ一藩騷擾ス即チ之ヲ匡救
シテ勤王ノ義氣ヲ振ハントシ相率キテ水戸ニ赴ク時ニ松
平大炊頭藩主ニ代ハリ鎮撫トシテ水戸ニ至ル三左衛門ノ
徒拒ヲ入レス是ニ於テ筑波勢之ヲ輔翼シ磯浜ニ至リ更ニ
進ニテ那珂湊ニ至ラントス那珂川ヲ挾テ戰フ庄七等曉天
小勢ヲ以テ先鋒トナリ朝霧ヲ冒シテ河ヲ渡リ那珂湊小川
坪ニ着キ先ヅ取廻町ニ火ヲ放チ御殿山ヲ襲フ敵兵大小砲
ヲ放奈シ銃ヲ悉シテ之ヲ拒ク我軍稍躊躇ノ色アリ時ニ庄

七先ニ進ミ勇戰シケレハ諸士之

ハス敵兵遂ニ敗走ス庄七独リ進

フル是ニ於テ藤田小四郎飯田軍

河ヲ渡リテ攻撃シケレハ敵軍

藤田小四郎 贈從四位 明治三二・五
飯田軍藏 贈正五位 大正七・一

長谷川庄七事蹟

長谷川庄七八常陸國行方郡芥沢村芥沢外記ノ四男鹿島郡
駒場村郷士長谷川四郎右衛門ノ嗣子トナル父ノ後ヲ襲キ
テ里正トナリ取務ニ恪勤シ利ヲ興シ害ヲ除クコト少カラ
ス資性慷慨ニシテ氣節アリ常ニ皇望ノ式微ヲ憂ヒ挽回ニ
竭スヲ念トス文久三年三月藩主水戸侯上洛セララル、ヤ藩
命ヲ受ケテ扈從シ西丸ヲ警衛ス後退任帰郷ス當時食客數
十名ヲ寓セシメ尊攘ノ大義ヲ唱ヘ東奔西走斡旋スル所アリ
元治元年春水戸ノ士田九箱之衛門藤田小四郎等義兵ヲ
擧ケテ攘夷ノ先鋒タラントシ大平山ニ拠リ檄ヲ飛ハシテ
志士ヲ募ルニ當リ同志百餘人ヲ率テ馳セテ之ニ參ス尋テ
轉シテ筑波山ニ屯ス庄七輜重奉行タリ後水戸市川三左衛

茨城縣

門ノ徒跋扈シ勤王ノ士ヲ戕害シ一藩騷擾ス即チ之ヲ匡救
シテ勤王ノ義氣ヲ振ハントシ相率キテ水戸ニ赴ク時ニ松
平大炊頭藩主ニ代ハリ鎮撫トシテ水戸ニ至ル三左衛門ノ
徒拒テ入レス是ニ於テ筑波勢之ヲ輔翼シ磯浜ニ至リ更ニ
進シテ那珂湊ニ至ラントス那珂川ヲ挾テ戰フ庄七等曉天
小勢ヲ以テ先鋒トナリ朝霧ヲ冒シテ河ヲ渡リ那珂湊小川
坪ニ着キ先ヅ取廻町ニ火ヲ放チ御殿山ヲ襲フ敵兵大小砲
ヲ放奈シ鏡ヲ悉シテ之ヲ拒ク我軍稍躊躇ノ色アリ時ニ庄
七一隊ノ長タリ槍ヲ揮ヒ真先ニ進ミ勇戦シケレハ諸士之
ニ氣ヲ得テ一有ニ突進奮戦ス敵兵遂ニ敗走ス庄七獨リ進
シテ追撃シ砲丸ニ中リテ斃ル是ニ於テ藤田小四郎飯田軍
藏等進撃シ他ノ諸隊又續々河ヲ渡リテ攻撃シケレハ敵軍

全ク支ヲル能ハス水戸城下ヲ指シテ遁走シタリ是レ賈ニ
元治元年八月十六日ノ事ナリ庄ノ享年三十九

茨城縣

調書

一 氏名 吉田 豊

二 既有位階勲 無し

三 生年月日 天保三年十二月二十六日

四 事蹟

明治維新ノ際結城藩主向背ヲ誤ルニ當リ百方切諫シ其目的ヲ達セサリシモ一藩士民ヲ激勵シ以テ勤王ニ努メタリ詳細ハ別紙ノ通

五 死亡ノ年月日並其原因 明治十八年七月四日病死

六 遺族ノ状態 茨城縣結城郡結城町ニ住ス

七 前各項ニ関スル調査ノ出處

茨城縣編「大正七年茨城縣贈位者事蹟」吉田豊手稿

茨城縣

「國難野史」高倉含英編「結城藩勤王史」等